



登録はこちら

ブラウンバックセミナー

録画期間限定公開
オンライン(Zoom)

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

2021.10.20 (水)

日 ↔ 英 同時通訳

12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 演者紹介
12:15-12:40 プレゼン
12:40-12:50 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_D74GqaHETXi87amug57oaw



Asia Week 特別講師

シャロン・ビグネル氏

駐大阪オーストラリア領事 兼 トレード・コミッショナー

シャロン・ビグネル氏は2021年1月に駐大阪オーストラリア領事 兼 トレード・コミッショナーとして着任しました。国際教育の経験があり、2018年から2020年まではオーストラリアのボンド大学の国際担当アソシエイト・ディレクターを務め、それ以前の2014年から2017年まではグリフィス大学の国際チームの一員として、日本、韓国、モンゴル、フィリピンからの学生の募集とサポートを担当していました。また、オーストラリア、日本、イギリスで、教育

関連の仕事を数多く経験しています。

在大阪オーストラリア総領事館に入館する前は、岡山の高校と札幌の大学での交換留学、三重県のJETプログラムでの国際交流員、東京のオーストラリア大使館での勤務など、約10年間の日本滞在経験があり、日本語も堪能です。シドニー工科大学で国際ビジネス、マーケティング、日本語を専攻した後、マッコーリー大学で国際関係学の修士号を取得しています。



KYUSHU UNIVERSITY INSTITUTE
for ASIAN and OCEANIAN STUDIES



KYUSHU
UNIVERSITY



オーストラリアにおける多様性

開会挨拶：河野 俊行 教授 (九州大学 理事・副学長)

司会：Scott Valentine 教授 (Q-AOS 研究推進ディレクター)

オーストラリアは多文化国家であり、世界最古の継続的な文化を持つ国であると同時に、300以上の民族や言語を持つオーストラリア人の故郷でもあります。オーストラリア人の4人に1人以上が海外で生まれ、約50%が少なくとも片方の親が海外で生まれています。このように文化的に多様な人々から生まれる機会と課題とは何でしょうか？このセミナーでは、現在のオーストラリアの人口構成と、オーストラリアにおける多様性とは何かを説明した上で、オーストラリア政府の政策や職場での実践に多様性がどのように反映されているかについて、いくつかの実例を挙げて説明します。また、大学を例にとり、留学生がオーストラリアの移民プログラムの重要な柱の一つであり、オーストラリアの経済と社会の継続的な成長と成功に重要な貢献をしていることを説明します。

